

芸術鑑賞会

5月19日、プロパフォーマーの「ちゃんへん」さんに来ていただき、いろいろな大道芸を鑑賞しました。

いろいろなものを投げて回すジャグリング、生きているかのように動くヨーヨー、そしてちゃんへんさんがアメリカの大会で優勝したこともある中国ゴマを高く投げる技などに、子ども達から大きな歓声があがりました。

10個連なったけん玉は、残念ながら今回大成功とならなかったのですが、失敗しても何度も挑戦する姿に、子ども達は勇気づけられていました。

パフォーマンス以外に生い立ちなどについてのお話もありました。在日朝鮮人として生まれたちゃんへんさんは、日本の学校で壮絶ないじめにあったそうです。母親が当時の学校の校長に「いじめより楽しいことを子どもに教えよ」「素

敵な夢を持っている子はいじめなんてしない」と言ったことなどを子ども達にも語ってくださいました。また最後は自分の気持ちを込めたラップを歌って聞かせてくれました。

ちゃんへんさんのパフォーマンスとお話はとても子どもたちに響いたようです。

子ども達の感想の一部を紹介します。

- めちゃくちゃたのしかった。またきてほしい。
- ボールを棒に乗せるのがすごかった。
- ちゃんへんさんは、けん玉できなかったけど、あきらめないでくりかえしていて、すごいと思いました。
- お話を聞いて、みんなにやさしくしようと思った。いじめられている人を助けようと思った。



- ちゃんへんさんが言っていた「まったく同じようにそだてても、同じ人間にはならない」そういうことが心にのこりました。理由は同じ人間はいないことが分かったからです。
- つらい過去もあったのにそれをのりこえて自分のゆめに立ち向かっているところに感動しました。
- 小学校のときの話は、今習っている基本的人権の尊重とも結びつく有意義な話だと思いました。
- お母さんの「夢をもっているやつはいじめなんてしない」という言葉がとても心に残りました。
- 夢にあきらめずに向かっていこうと思いました。
- 団地のおじさんやちゃんへんさんのお母さんのような、覚悟があって、勇気のある人になりたいと思いました。

全校朝会でのお話

6月の全校朝会では、花ボランティアさんを写真で紹介しました。本校には7人の花ボランティアさんが月に3, 4回、学校周りの花壇と北門のところの花壇の手入れや植え替えをしてくださっています。子ども達は理科の時間に花の観察をしたり、登下校中に「きれいやなあ」「親子のチューリップが咲いてる」など話していたりして、花壇に親しんでいます。

先日ボランティアさんと話をする中で、「子ども達が『何してるの?』と興味を持ってくれることが増えています。この前はちょうど下校時間だったので『いつもありがとうございます』と言ってくれる子もいて嬉しかったです」とおっしゃっておられました。そのことを子ども達に話して、挨拶やお礼を言うことの大切さを伝えました。ボランティアさんの姿を通して、自分たちのことを支えてくださっている地域の方の存在を少しでも知ってほしいと願っています。

この花壇は園芸委員会の子たちも重いじょうろで水を運んで毎日水やりをするなどお世話をしてくれています。みんなで大切に育てている花、児童だけでなく、地域の方々にも楽しんでもらえると嬉しいです。

